

# 北陸農政局長賞受賞

～木滑里山保全プロジェクトの取組～

きなめりさとやまほぜん

受賞者

## 木滑里山保全プロジェクト

(石川県<sup>はくさんし</sup>白山市)

### ■ 地域の概要

白山市木滑地区は、石川県の南部に位置し、霊峰白山を源とする手取川と高倉山に囲まれた緑豊かな3集落で構成されており、過疎と豪雪地域等に指定されている山間農業地域である。



位置図

### ■ 主なむらづくりの内容

過疎高齢化が進行する中、平成22年に木滑地区が石川県の「先駆的里山保全地区」に選定されたことをきっかけに、地域の活力低下や集落の機能維持に危機感を持った地元有志らが集まり、「木滑里山保全プロジェクト」を立ち上げ、地域活動をスタートした。

里山の地域資源に着目した交流イベント里山祭「山笑い」（春・秋・冬の年3回開催）を通じ、交流人口の拡大が図られている。また、伝統の盆踊りの「あさんがえし」を復活させたほか、都市部の親子と地域住民が共同で農作業を行う交流事業を実施している。地元女性は、プロジェクトと協働し加工グループを組織し、伝統料理や山菜加工品の研究、野菜等の直売を行っている。

近年、イノシシなどの鳥獣害の増加が懸念される中、石川県立大学との連携により、耕作放棄地を有効利用する取り組みとして「羊の放牧」を行い、関係団体（白山ふもと会）の協力により、羊肉や羊毛を利活用する実証試験等が行われている。

地域住民が何もないと思っていた里山で、地域の伝統を守りつつ、地域資源の利活用と多様な主体の参画により、都市農村交流と情報発信を通じ、地域の活性化に寄与している。



写真1 山笑い「稲の収穫体験」



写真2 加工グループの研修、  
山菜のお総菜



写真3 羊の放牧（耕作放棄地）